2009 年 9 月号　遊佐町共同開発米部会　広報部

遊佐町共同開発米の米日記

刈り場を迎えた遊佐町の田

かわいい看板の飼料用米

平成 21 年度デビュー・つや姫

田んぼの 4 隅は手で刈取り

鳥海山をバックに稲刈り

コンバインのメンテナンス

心配された日照不足も 9 月に入り回復し、9 月 20 頃からいよいよ遊佐町も稲刈り作業がスタートしました。今年も台風等の被害はなく、飼料用米を皮切りに遊ＹＯＵ米のどまんなか・ひとめぼれ、ササオリジンのササニシキなど品種ごと刈取りを行います。ご存知かもしれませんが、飼料用米として作付けしているフクヒビキという品種は、一粒一粒が大きくてビックリします。品種と言えば山形県が期待をかけて送り出す、平成 21 年度デビュー「つや姫」が近頃話題です。

お米の登熟具合・籾の水分量・田んぼの乾き具合・天候を見ながらと稲刈りをする訳ですが、毎日のコンバインのメンテナンスは欠かせません。とても高い機械ですので丁寧に取り扱います。田んぼの 4 隅はコンバインが旋回する為に手で刈りとり、収穫の終えた籾を自家調整したり、ライスセンターを利用して出荷されます。今年の品質は 8 月の天候にも恵まれ、シタゴメ （出荷出来ない米）が少なく品質も良好です。

10 月に入ってからもまだまだ稲刈りは続きます。すべて収穫が終わっていませんが、今年も無事にお米を育てる事ができました。

2009 年 9 月号　遊佐町共同開発米部会　広報部

遊佐町共同開発米の裏日記

1

2

3

1. 枝豆の収穫作業です。
   枝豆の収穫は、豆の温度が上がらない早朝に行います。朝露に濡れながら、腰を曲げての作業です

2. 機械で枝から莢をはずします
   昔は手で行っていた作業ですが、この機械のおかげで一度に多くの量をこなすことができます

3. 水洗いのあと、選別作業です
   実の薄いもの、一粒、虫食いなどを選りわけます。

1

2

3

1. 稲刈り後の圃場に元肥を散布し、耕起したのち菜種の播種を行います。

2. これが菜の花の種子です。とても小さな種です。

3.播種はロータリーの後ろに専用の播種機を取り付けて行います。